

レジテクトCS-WP工法

高架橋では、上下（内外回り）線の中央分離帯部分に遊間が設けられている場合があり、この遊間に雨水が浸入することで、以下の不具合が懸念されています。

- 1 コンクリート床版の裏側面の劣化促進
- 2 遊離石灰質の発生と遊離塊の落下
- 3 高架橋下への雨水の落下



中央分離帯の遊間部分



遊間の裏面



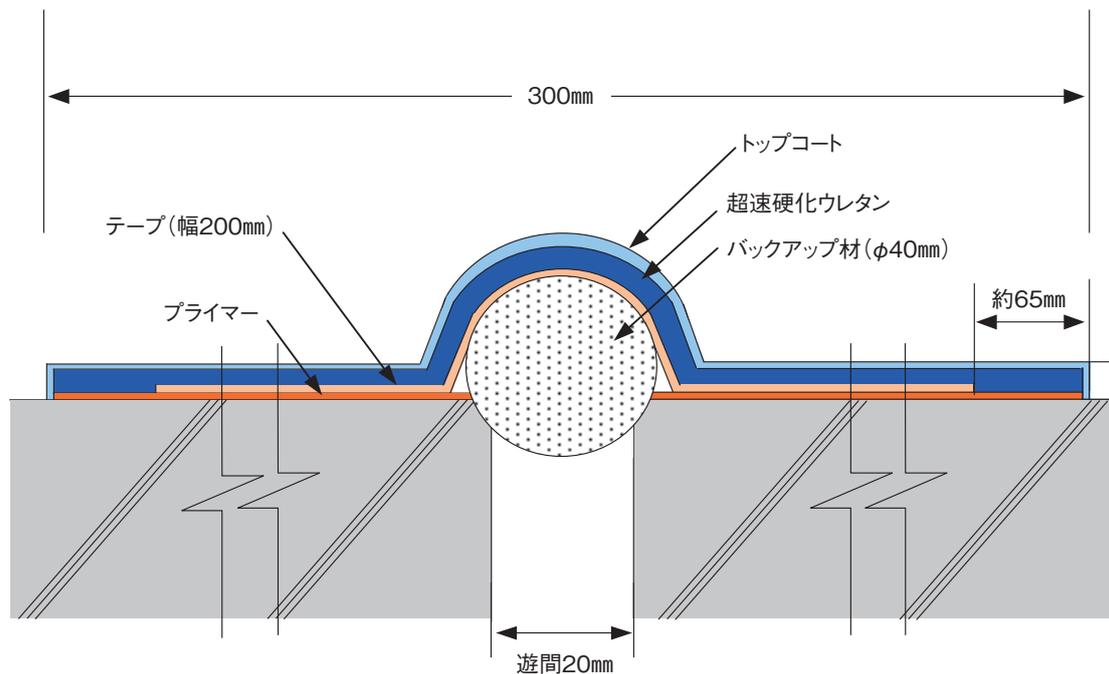
高速道路の中央分離帯

特長

- 雨水の浸入を長期にわたって防止します。
- 通行車両による振動（上下動）に長期にわたって耐えられます。
- 供用中の振動（上下動）の中でも支障なく施工ができます。
- 供用中は車線規制、時間規制が伴うため、工期短縮に有効です。
- 仕上がりが、景観に調和します。



構成図



施工工程

工 程		作業 6時間	
1	研磨工	1.5時間	100mを 1日で 施工完了
2	プライマー工	0.5時間	
3	バックアップ工	0.5時間	
4	テープ工	0.5時間	
5	防水工	2.0時間	
6	上塗工	1.0時間	

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト
<http://www.resitect.net/>
にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月版
(23.4月現在) 23.04.0.000 SJ